

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 05 10	中期総合計画主要施策番号	3-04	担当課	部・課	健康福祉部 地域福祉課	
事業名	認知症介護実践者等養成事業			内線	2338		
				E-mail	chiiki-fukushi@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H13 ~	根拠法令等	認知症介護実践者等養成事業実施要綱				
実施方法	委託（認知症介護研究・研修大府センター）					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的（必要性）	認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、認知症介護に従事する者の資質向上を図る。				
	対象	介護従事者等				
	目指すべき姿	介護従事者等に対して、介護に関する知識・技術の普及を図り、県民がより質の高い福祉サービスを受けられる社会を目指す。				
	事業内容	研修を委託している認知症介護研究・研修大府センターへの研修委託料及び研修参加者への旅費を支出する。				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 (1) 認知症介護指導者養成研修 ・研修旅費（19泊20日＋12泊13日）（2人分） 237千円 ・大府センターへの研修実施委託料（2人分） 460千円 (2) フォローアップ研修 ・研修旅費（4泊5日）（2人分） 76千円 ・大府センターへの研修実施委託料（2人分） 380千円
	最終予算額 (A)		千円	1,273	1,273	1,273	
	決算額 (B)		千円	1,193	1,153		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	963	925	1,040	
	概算人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10	
		概算人件費 (C)	千円	832	826	826	
概算事業費 (B(H24はA)＋C)		千円	2,025	1,979	2,099		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・認知症指導者養成研修修了者が講師となった学習会等の受講者数 H18 7,364人、H19 8,971人、H20 9,769人 H21 8,017人、H22 13,359人 (効果指標 算出式) 事業費/研修修了者数
	認知症介護指導者養成研修修了者(活)	人	2	2	2	
	フォローアップ研修修了者(活)	人	2	2	2	
	<効率指標(単位当たりコスト等)>		298.25	288.25	318.25	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価		評価区分
	・研修参加により、2人の指導者を養成する。 ・研修修了者は、研修成果を踏まえ、認知症介護に関する知識・技術の普及を十分に行なう。		・2人の指導者を新たに養成した。 ・指導者養成研修修了者が講師となった学習会の受講者数が前年度に比べて約5,000人増加し、学習会が活発化していることがうかがえた。		b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・認知症高齢者を支えるスタッフの資質向上は不可欠であるが、研修場所、期間の制約から研修ニーズは高くはない。 ・厚生労働省の要綱により、実施主体は都道府県とされており、研修実施に関する詳細は特定されている。 ・修了者の地域での活動をより活発化するために、将来的には環境整備を検討する余地はある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる10年」に基づき、平成26年度までに認知症介護指導者養成研修修了者を38人にすることを目標としていることから、引き続き本事業の継続を要する。 ・また、修了者の講義等が県内全域でバランス良く実施され、活発化されるよう、修了者の活動地域についても検討する余地がある。				
	特記事項					